

平成 25 年度第 3 回日野市入札及び契約等監視委員会議事概要

開催日時場所	平成 26 年 1 月 20 日（月） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分 日野市役所 2 階 201 会議室		
出席委員	委員長 西浦 定継（明星大学理工学部教授） 委 員 山下 太郎（弁護士 日野市民法律事務所） 委 員 濱中 大輔（税理士 星野・濱中会計事務所）		
議事次第 1. 委員長選出 2. 開会 3. 入札及び契約手続きの概要説明 4. 審議事項 （1）抽出案件について（平成 25 年 8 月 1 日から平成 25 年 10 月 31 日までの総務課契約締結分） 5. その他 6. 閉会			
質問・意見		回答	
3. 日野市入札及び契約手続きの概要説明 ○委員の入れ替えもあったので、改めて確認の意味を含めて、日野市での入札、契約手続きの概要を説明願いたい。 4（1）抽出案件について ・抽出方法等の説明を事務局に求める。 ○工事について ・日野市立東光寺小学校トイレ等改修工事と日野市立三沢中学校直結給水化工事はなぜ同日案件になったのか		・日野市における入札の基本的な流れや入札方式について説明。 ・今回の審査対象期間は、平成 25 年 8 月 1 日から平成 25 年 10 月 31 日までとなっています。 この間に総務課で契約締結した案件の総数は 239 件です。前年同期と比較しますと契約件数が増加しています。 ・東光寺小学校トイレ等改修工事は、老朽化が進んでいるトイレ関連施設の全面改修工事です。三沢中学校直結給水化工	

○設計・測量について ・日野市立日野第二中学校北校舎改築基本設計業務委託はなぜ落札率が低いのか。 ・落札率が低い案件について、もともと東京都の設計基準が高いということは考えられないのか。落札率が低いことに関しては、事業者側の努力もあると思う。安い金額であってもしっかりと業務を行ってもらえれば問題ないのだが、労働者側に何かしらのしわ寄せがいくよう	事は、給水管の老朽化による水飲栓系統の改修及び直結給水化工事です。両案件とも、「給排水衛生工事」という業種です。 ・この２件は、公表日、工種、開札日が同じになったため、１件を落札した事業者は、その時点で他の案件の入札には参加できないという「同日案件」という制限に該当しました。受注機会の拡大のため設けた制限です。両案件とも、設計金額が２千万円以上のため指名委員会に諮ったのちに、手続きを進めました。この指名委員会に諮るタイミングも工期から逆算してある程度決まります。また、案件の告示はすべて金曜日と決めています。そのため、同じタイミングで同じ工種の案件が出てしまったというわけです。 ・老朽化が進んでいる校舎の建て替えのための基本設計業務です。制限付一般競争入札で実施し、入札に参加した５者のうち一番高い入札額が予定価格の７５％、落札額の落札率は４４．０９％でした。設計金額は東京都の基準で積算しているので、市の積算は適正な額と思われます。
---	--

なことがあればよくないと思われる。 ○委託について ・ 緑と清流の総合管理業務委託などのように、シルバー人材センターに委託する案件は多いのか。 ・ シルバー人材センターは日野市と何か関係があるのか。 ○全体を通して ・ 落札率が低い案件に関して、しっかりとチェックは行っているということでしょうか。 ・ 特命随意契約の案件は前回のメンバーでも審議をした。今回のメンバーでもどこかのタイミングで審議できればと思っている。	・ 業務が臨時的かつ短期的、簡易的なものであるという条件が付きますが、シルバー人材センターへの委託は件数としては多いと思います。なお、契約事務規則により案件を事前公表しています。 ・ 活動している方々はすべて 60 歳以上の一般の日野市民の方々のみです。事務局に元市職員が 1 名おります。 ・ 落札者決定後、担当課において落札者に対し仕様の見落としがないか等の確認を行った後、契約を締結するようにしています。この確認作業で、見落とし等が見つかるというケースはほとんどありません。しかし、学校給食調理業務委託において、落札者から仕様の見落としがあり契約を辞退したいとの申し出を受けた案件が最近発生しました。落札率が極端に低いというわけではありませんでしたが、念のため確認したところ、見落としが発覚したものです。
--	---